

# くすのき



岡本小学校 学校だより

No.8

令和2年8月25日

『信頼と共生のワンチーム』

《学校教育目標》 夢に向かって未来を拓く『おかもとの子』の育成

## 力を合わせて乗り越えよう

短い夏休みでしたが、ご家庭での見守り、ありがとうございました。学校再開日、教頭から子どもたちに、次のようなメッセージが届けられました。



「100年前にも今の新型コロナウイルスのようなことがあって、その時の人たちが力を合わせて乗り越えてきたんだよ。今回も力を合わせて乗り越えましょう」というお話をします。

みなさんは、インフルエンザという病気を知っていますか？インフルエンザも、新型コロナと同じ「ウイルス」というものが起こす病気です。でも、インフルエンザウイルスは、新型コロナウイルスのように怖くありません。それは、およそ100年前、インフルエンザが初めて流行った時に、その時の人々が力を合わせて、学校を休校するなどして乗り切ってきたからです。今回のコロナウイルスでも、学校を休校してみなさんに家で勉強してもらうなどしてきました。よく頑張りましたね。

みなさんの他にも、頑張ってくれる人が大勢います。

まず、お医者さんや看護師さんなど、病院などで働いている人たちです。ウイルスの一番近くで、病気を防ぐビニールの防護服を着るなどして、病気の人を治してくれています。次に、新型コロナウイルスに効く新しい薬を作ってくれている人たちです。中でも、南足柄で生まれた富士フィルムという会社が、コロナウイルスに効く新しい薬づくりをしていています。薬ができれば、コロナウイルスを怖がる必要がなくなるので、南足柄生まれの富士フィルムさんが薬を作ってくれることを、教頭先生はとても楽しみにしています。

3つめは、コロナウイルスが流行っている中でも、私たちがこれまでと同じように生活できるよう、いろいろな仕事をしてきている人たちです。コロナウイルスが流行っている中でも、私たちはスーパーで肉や野菜を買って食べることができるし、いろいろなお店で洋服や靴を買ったり、扇風機やエアコンを買ったりすることができます。当たり前なのですが、それぞれの人たちがコロナにかからないようにいろいろな工夫をして、働いて下さっているおかげです。本当にありがたいと思っています。

さらに、先生たちもがんばっています。みなさんが、コロナの中でも安全に勉強や遊びに取り組めるように、

水道場に仕切りをつけたり、床にテープで線を引いたりしました。また、授業中も向かい合うようなグループ活動はなるべくしないようにしたり、みなさんが帰ってから学校中を消毒したり、トイレの便器を掃除したりしています。

みなさんにお願ひがあります。

夏休みが終わっても、これまで通り、毎朝熱をはかること、上手にマスクを使うこと、友だちとできるだけ向かい合って話さないこと、大声を出さないこと、給食の時、手洗い、消毒、前を向いて食べるなどのルールを守ることを忘れずにお願ひします。友だちが思わず忘れてしまうことがあるかもしれません。その時は、例えば、「マスクしなきゃだめでしょ!」と責めるのではなく、「マスクした方がいいと思うよ」のように、優しくアドバイスしてあげましょう。もし自分がアドバイスをもらったなら、「ありがとう。そうする。」とか「ありがとう。でも今暑くて苦しいから、もうちょっとしてからつけるね。」など、自分のことを心配してくれたことにお礼を言ってから返事ができるとスマートですね。

でも、ウイルスの怖いのは、どんなに気を付けていても、うつってしまうことがあることです。

もし、自分がコロナウイルスにかかってしまったら、すぐに担任の先生に教えてください。担任の先生は、校長先生や教頭先生に伝えてくれます。校長先生や教頭先生は、すぐにお医者さんや保健所に相談して、どうしたらいいか教えてもらって、**みなさんを守ります。だから、安心してください。**

また、インフルエンザのように、コロナが友達にうつってしまうことがあるかもしれません。もしそうなってしまったら、**いっぱいいっぱい、でもそうと心配してあげてください。**インフルエンザもそうですが、コロナもかかりたくてかかる人はいません。だからよく知らないのに「〇〇さんがコロナにかかったらいいよ。」と噂をしたり、その人が傷つくようなことを言ったりするのは絶対にやめましょう。

今から100年前の時は、いろいろ苦労しながら、みんな協力して、だいたい2年くらいで乗り越えたそうです。今の技術ならもっと早く乗り越えられるはずですが。そのためにはみんなの協力が必要です。みんなで力を合わせて乗り越えましょう。

岡本小学校 HP



# ノーマスク少荷物傘さし DAY

「晴れているのに傘をさして歩くのは、なんだか恥ずかしいよ」  
高学年の子どもたちから、そんな声がちらほらと聞こえてきます。

年頃の子どもの気持ちは、十分に理解できますが、この暑さ…  
背に腹は代えられません。恥じらいよりも命を守ることが先決です。

「せーの!で、みんなてやれば、人の目も気にならない!」

そんな声かけをしながらの実施でした。

実際、雨傘をさして歩いてみると、かなり涼しいということが体感できます。また、ノーマスクでも、傘をさしていることで人と人の距離を自然と保つことができるので、一石二鳥です。ただ、傘をさしていると、どうしても視線が下がりがち。通学路を歩く子どもたちに、OKAMOTO 安全サポート隊の方々が、  
「前が見えづらいから、ちゃんと前を向いて歩いてね。」

と、一人ひとりに声をかけてくださっています。本当にありがたいです。熱中症アラートが出ている日や、登下校時の気温が高い時には、『ノーマスク少荷物傘さし DAY』をもうしばらく継続していきます。



## グリーンベルト新設

小学校東側の踏切沿いに、グリーンベルトが新設されました。特に、山崎地区から登校する子どもたちにとっては、わかりやすい目印となりました。近隣を通る際には、ぜひご活用ください。



## 熱中症予防のために〰〰〰

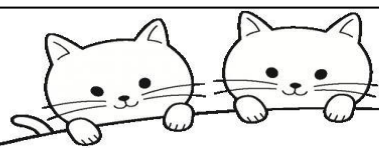
今週から、午後の授業が始まりました。8月の午後日課、そして給食は初めてのこと…しばし、暑さとの戦いです。

そんな折、第2のタイガーマスクさんより、「子どもたちと教職員の皆様の熱中症予防のために役立ててください」と、『塩分タブレット』72袋をいただきました。有効に活用させていただきます。



### 《お知らせ》

TT 少人数担当の福島 裕二教諭が体調不良のため、療養休暇に入りました。2~5年生の算数 TT 担当として、今週より、沖津 晴一総括教諭、磯崎 理知学習指導員、神戸 泉学習指導員、中島 恵美学習指導員が代替します。ご理解のほどよろしくお願いいたします。



### わたしのひとりごと



「おかえりなさい」：夏休み明けの学校再開日、いくつかの教室の黒板に記されていた言葉です。「おかえり」という言葉には、「君をまっていたよ、君の居場所はここだよ」というメッセージがあります。

夏休みに書籍の整理をしていた時、「ネガティブ・ケイパビリティ」という本に再会しました。何年も前に読んだ本ですっかり忘れていましたが、ペラペラめくってみると、現在のコロナ禍を乗り越えるためのメッセージが満載でした。心にズドンとせまってくるものがありました。

「ネガティブ・ケイパビリティ」とは、「答えの出ない、どうにも対処しようのない事態に耐える力」のことです。

本来、学校は、「なぜだろう?」という疑問に対して、調べたり、考えたり、互いに意見を交流したりして、最終的には課題を解決していく場所です。しかし、現在は、コロナという解決できない大きな課題を抱えて、学校全体、世の中全体が不安定な手探り状態にあります。

だからこそ、「ネガティブ・ケイパビリティ」の考え方をもちことが、大人には大切だと思います。

「なんだかよくわからないけれど、不安がいっぱい」という子どもたちが、きつとこれから多くなることでしよう。そんなとき、「私も解決はできないけれど、そうやって耐えられる君はすばらしいよ。不安な時には、こんなふうに対処しよう。」と言える教師でありたいと思います。「岡本小学校はわたしの居場所」と思えるように…。

「子どもたち、おかえりなさい」